

徳島県の温室効果ガス排出量の状況について

この度、本県の「温室効果ガス排出量の状況（2018年度算定結果）」がまとまりましたので公表します。

●徳島県における2018年度（平成30年度）の温室効果ガス排出量

○各温室効果ガス排出量の合計

7,615千t-CO₂ . . . ①
 2013年度比 1,260千t-CO₂減少（14.2%減少）
 2013年度 8,875千t-CO₂

○森林吸収量

710千t-CO₂ . . . ②
 2013年度排出量（8,875千t-CO₂）の8.0%相当

○森林吸収量差し引き後の温室効果ガス排出量

6,905千t-CO₂ (①-②)
 基準年度の温室効果ガス排出量との比較
 2013年度比 1,970千t-CO₂減少（22.2%減少）

温室効果ガス排出量の推移等

- 徳島県の温室効果ガス排出量は、直近2カ年は微増したものの、対2013年度比で2018年度は▲22.2%となりました。

産業部門は2,731千トン(+133千トン)で前年度比5.1%増[5.8%減]

民生部門は2,587千トン(▲66千トン)で前年度比2.5%減[29.3%減]

運輸部門は1,258千トン(▲22千トン)で前年度比1.7%減[7.6%減]

※[]内は2013年度比

- 2016年度以前の森林吸収量は樹種別に単一の係数を掛け合わせ求めていましたが、2017年度以降は「徳島県気候変動対策推進計画（緩和編）」に基づき、樹種別に樹齢に応じた係数を用いて、より正確な吸収量の算定をしています。

- 本計画では森林吸収量を差し引いた排出量について、「2030年度に2013年度比50%削減する」との目標を掲げており、2018年度は22.2%削減となっています。

□ 温室効果ガス排出量の推移

		単位：千t-CO ₂ 、%										
区 分		2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	前年度比	2013比
二酸化炭素	エネルギー 転換部門	249	241	214	204	220	205	249	253	270	6.6%	32.3%
	産業部門	2,237	2,597	2,900	2,899	2,970	2,871	2,507	2,598	2,731	5.1%	-5.8%
	民生部門	1,943	2,729	3,376	3,659	3,379	3,211	2,723	2,653	2,587	-2.5%	-29.3%
	運輸部門	1,327	1,312	1,304	1,362	1,311	1,300	1,278	1,280	1,258	-1.7%	-7.6%
	工業プロセス	46	46	41	42	22	19	18	21	28	32.9%	-32.2%
	廃棄物部門	288	290	290	120	121	119	117	117	117	0.2%	-2.1%
二酸化炭素計		6,091	7,215	8,125	8,286	8,023	7,725	6,894	6,922	6,991	1.0%	-15.6%
メタン		153	150	148	145	144	121	137	136	136	-0.3%	-6.3%
一酸化二窒素		156	158	157	165	158	150	117	116	114	-1.9%	-30.7%
代替フロン4ガス(※)		187	195	220	280	297	308	343	361	375	3.8%	33.9%
温室効果ガス排出量合計		6,537	7,719	8,650	8,875	8,623	8,304	7,491	7,536	7,615	1.1%	-14.2%

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

□ 森林吸収量の推移

	単位：千t-CO ₂									
	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	
旧算定	753	886	887	939	893	882	920			
新算定	600	707	708	751	715	707	726	722	710	